

県北の家庭教育応援企業通信

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
電話 024-521-2814

【新規申込み企業の紹介】

〈福島市〉 ○株式会社ユミヤマ ○サンヨー缶詰株式会社 ○高野精器有限会社
 ○採用と教育研究所 ○特別非営利活動法人チームふくしま

〈伊達市〉 ○大沼林産工業株式会社

〈大玉村〉 ○公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

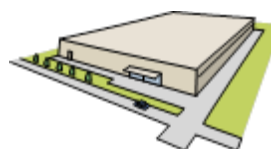
〈本宮市〉 ○株式会社相原製作所

今後とも、家庭教育の推進と子どもたちの健全育成のためお力添えをいただきますよう、お願いいたします。

家庭教育応援企業としての御支援と御協力ありがとうございます

〈福島市〉 福島ヤクルト販売株式会社、大槻電設工業株式会社、福島信用金庫、佐藤工業株式会社、朝日システム株式会社、東開工業株式会社、社会医療法人秀公会、株式会社福島銀行、株式会社ダイコーエイト、株式会社大丸工務店、株式会社東邦銀行、株式会社山川印刷所、株式会社日進堂印刷所、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、第一温調工業株式会社、協和ポーリング株式会社、株式会社トーネット、株式会社トーネットコーポレーション、株式会社三本杉ジオテック、株式会社オノヤスポーツ、株式会社日新土建、株式会社クリーンテック、株式会社環境分析研究所、株式会社こんの、一般財団法人大原総合病院、株式会社阿部階工、株式会社光和設備工業所、シオヤユニテック株式会社、福島酸素株式会社、株式会社クリフ、内池醸造株式会社、株式会社アポロガス、社会福祉法人けやきの村、福島民友新聞株式会社、株式会社ジェンツ、生活協同組合コープふくしま、渡辺エンジニアリング株式会社、株式会社福島民報社、福島ガス株式会社、社会福祉法人陽光会、きらり健康生活協同組合、北芝電機株式会社、アース株式会社、株式会社エイティック、有限会社西坂製作所、福島カラー印刷株式会社、福島鋳金工業株式会社、有限会社佐戸川ダクト鋳金工業所、株式会社サン・ベンディング福島、株式会社倉島商店、東北電力株式会社福島支店、イーコンセプト株式会社福島支店、株式会社モリヨシ技研、社会福祉法人ライフ・タイム・福島、コバックス株式会社、有限会社テレサ、株式会社ライフロール、渋谷レックス株式会社、中央設備株式会社、協三工業株式会社、株式会社古俣工務店、株式会社福島製作所、ミライス株式会社、株式会社キスキ、株式会社中データ福島事業所、株式会社高槻、株式会社エー水技研、新広建設株式会社、株式会社ももがある、有限会社やない製麺、福島工ナメル工業株式会社、有限会社櫻井運送、株式会社丸福織物、社会福祉法人北信福祉会、株式会社シンワ、株式会社銀嶺食品、株式会社コアテック福島支社、株式会社旭電化、有限会社アネスティ、ふくしま未来農業協同組合、株式会社フクセツ、株式会社信濃屋、有限会社 幸、文化設備工業株式会社、富久泉工業株式会社、株式会社ユミヤマ、サンヨー缶詰株式会社、採用と教育研究所、特別非営利活動法人チームふくしま、高野精器有限会社

(次ページへ続く)



家庭教育応援企業としての御支援と御協力ありがとうございます

- <川俣町> 株式会社川俣町農業振興公社、株式会社小林、株式会社菅田、有限会社大善自動車整備工場、株式会社渡辺機械、有限会社藤野機工
- <伊達市> 富士通アイソテック株式会社、公益財団法人仁泉会、株式会社ナプロアース、社会福祉法人慈仁会、社会福祉法人信達福祉会、三和石油ガス株式会社、株式会社新栄製作所、常興工業株式会社、**大沼林産工業株式会社**
- <桑折町> 福興産業株式会社、曙ブレーキ福島製造株式会社、株式会社三栄精機製作所、渋谷建設株式会社、根本建設株式会社、社会福祉法人緑風福祉会
- <国見町> 公立藤田総合病院、株式会社国見メディアデバイス、株式会社荏原風力機械国見工場、有限会社斎藤建設、株式会社福梁製作所、株式会社樋口屋商店
- <二本松市> 株式会社丸や運送、二本松信用金庫、医療法人辰星会、株式会社オウジ、株式会社野地組、人気酒造株式会社、福島ルビコン株式会社、株式会社協栄製作所、福島タカラ電気工業株式会社、高橋電機株式会社、株式会社東北東海
- <大玉村> 株式会社三和製作所、株式会社富士ピー・エス東北工場、パーフェクトン株式会社、おおたま村づくり株式会社、**公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団**
- <本宮市> アルス株式会社、株式会社光大産業、東北協同乳業株式会社、株式会社イワキ、株式会社マインド、川名建設工業株式会社、株式会社東北電設、コバテック株式会社、有限会社菅野自動車整備工場、有限会社武田産業、有限会社飯田製作所、株式会社ヨシハラ、有限会社佐藤工業、**株式会社相原製作所**

【県北の家庭教育応援企業／147社（平成30年7月27日 現在）】

子どもと大人・子どもと子どもがペアで作る五・七・五 （ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業）

子どもたちの豊かな心を育むことを目的に、平成14年度より始められたこの事業は、昨年度に通算100万人達成を果たしました。今年度も作品を募集しておりますので、企業の皆様にもふるって御応募いただきますよう、御案内いたします。

二人で掛け合って俳句を作ります。親と子、祖父母と孫、きょうだい同士等、二人の心が通う素敵な作品をお待ちしています。

平成29年度最優秀作品より

【絆部門】

おてつだい あわでゴシゴシ さらあらい（小学1年生）
ありがとう あとでこっそり 二度洗い（母）

【復興部門】

盆休み 家に帰れた みんないた（小学6年生）
大声で はしゃぐ息子に みな笑顔（母）

応募要領と応募用紙は、福島県教育庁社会教育課 (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/>) 又は県北教育事務所 (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70110a/>) のホームページからダウンロードできます。

家庭教育推進県北ブロック会議を開催しました。

6月11日(月)。本県の家庭教育推進上の課題である「親の学び」を支援するために、各郡・市(町村)PTA連合会・地域代表・企業代表等による県北地区ブロック会議を実施しました。今年度は、福島大学の原野明子教授を座長に迎え、「自己肯定感の形成」を主なテーマにした協議を行っていきます。

1回目の今回は、福島県中央児童相談所の荒井喜佐子氏から、「自己肯定感の形成に必要なものとは？」というテーマで、事例を交えた情報提供をいただきました。自己肯定感をもたせるために何が必要になるのかを、構成員がそれぞれの立場から考えるとともに、家庭への支援をどのように進めていけばよいのかについて活発な意見交換がなされました。

今回の県北地区ブロック会議の話し合いを、各地区の親子の学び応援講座やフォローアップ研修につなぎ、より多くの方々に広げていきたいと思ひます。



企業の皆様に家庭教育を応援していただいています

企業の皆様に取り組んでいただいているのは、「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」などです。

今回は、株式会社光和設備工業所(福島市)の取組を紹介します。

株式会社 光和設備工業所

【学校行事への参加促進】

【取組内容】

- ・学校行事へ積極的に参加しやすいように次のように就業規則を変更した。
 - ①プラス1 休暇(土・日・祝日の前後に年次有給休暇を取得する)の推奨
 - ②年次有給休暇の半日単位の取得
 - ③第5 土曜日を休日にする



【本社】



【福島東事務所】

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させていくためには、家庭や地域だけでなく、企業の取組の推進が益々求められています。各社の素晴らしい取組を発信し、広く紹介して参ります。随時受け付けておりますので、家庭教育のより一層の充実のため、ぜひ、取組の様子を御報告ください。